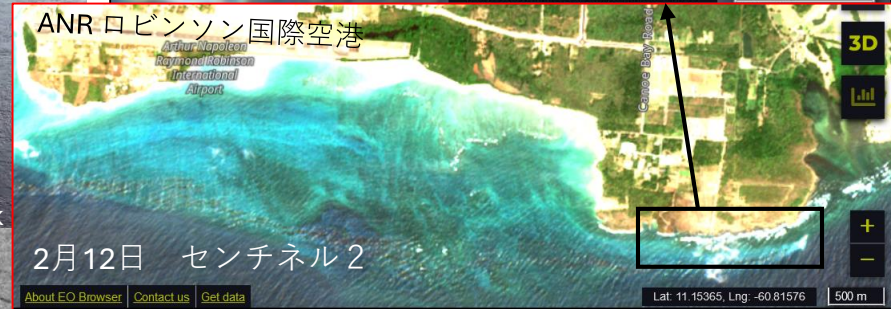
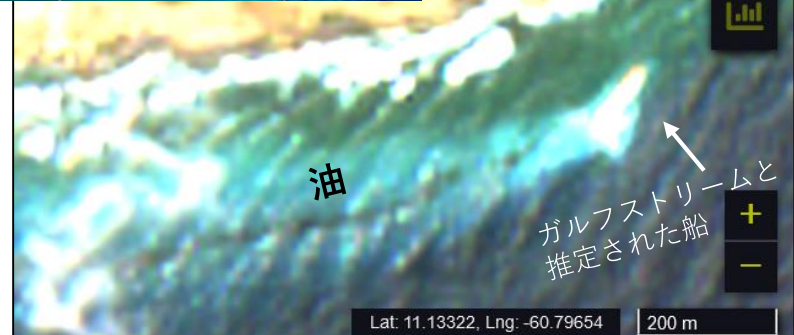


YACかわら版 437

海面汚染

油回収

2月7日、カリブ海諸国トリニダード・トバゴの2つの大きな島の北側のトバコ島南部の岩礁 (がんしょう) に、ナゾの多い船が乗り上げました。*自力で航行できないはしけでタグポートに押されていたといわれています。AIS船舶位置情報も発信せず、どこかの港からどこかに何かを運んでいたようです。海難事故のくわしい情報も不明です。転覆 (てんぷく) したこのナゾの船は、油をもらし始めトバコ島周辺のカリブ海を広く汚染 (おせん) し、海岸に押し寄せている。同国のローリー首相は11日、この状態を「国家非常事態」と形容されたそうです。2月14日のセンチネル1の観測では、油は島の西方160kmまで広がっているようです。海岸では油回収の作業が展開されています。



2月14日 センチネル1
22:18:31 UTC

約160km

電波で観測するセンチネル1は、海面に油が広がっていると海面の波の動きが弱まるため黒く見えるので、油流出を監視するのに役立ちます

